

知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議
「知床ヒグマエサやり禁止キャンペーン企画部会」の設置について（案）

1．部会名称

知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議
知床ヒグマエサやり禁止キャンペーン企画部会
（通称：知床ヒグマエサやり禁止部会）

2．部会設置の背景・目的

平成 24 年 10 月 5 日開催の適正利用・エコツーリズム検討会議にて、「知床エコツーリズム戦略」（案）の活用による知床斜里町観光協会の提起について部会設置が承認されたことから、本部会を設置し、提起内容に沿って、ヒグマへのエサやり等、知床における人とヒグマの軋轢を防止するための地域協働型の啓発企画を検討する。

「知床エコツーリズム戦略」の基本方針に沿って実行できる具体策・計画としてとりまとめを行い、平成 25 年 3 月に開催予定の適正利用・エコツーリズム検討会議にて検討結果を報告する。

3．部会の対象範囲

（1）対象動物

ヒグマを主たる対象とする。

観光客を含め万一の事故発生の場合、人命にまで被害が及ぶ可能性があることから、ヒグマに対するエサやり等の不適切な行為を防止する活動を優先的に行う。

キタキツネについては、沿道での課題発生が多いなどエリアが共通すること、エサやり行為の特性が似ていること、キタキツネへのエサやりでの食べ残しをヒグマも漁るケースもあることから、ヒグマへのエサやり禁止活動によりキタキツネへのエサやり行為を防止する効果も期待できる。

（2）広報対象

知床を訪れる観光利用者を主たる対象とする。

4 . 部会目標

「将来にわたり地域住民が安心して安全に住まうために」

「観光地としての魅力を損なわないことにより、安定した経済生活を続けるために」

本部会の構成団体の協力の下、啓発活動を進める。

啓発活動により、ヒグマにえさをやる、ヒグマの生息地にゴミを放置する行為をなくす。

ヒグマと人の軋轢をなくし、事故を未然防止する。

2012 年に発生したヒグマのエサやり行為・接近行為等を 2013 年には地域活動によりなくすため、地域協働型の活動メニュー（広報普及の取組）を取りまとめる。

5 . 部会の構成

提 案 者：NPO 法人知床斜里町観光協会

部会事務局：NPO 法人知床斜里町観光協会、斜里町、釧路自然環境事務所

構 成 団 体：北海道森林管理局、北海道開発局網走開発建設部、北海道オホーツク総合振興局、北海道警察斜里警察署、羅臼町、知床羅臼町観光協会、ウトロ自治会、ウトロ地域協議会、知床ガイド協議会、公益財団法人知床財団
NPO 法人知床斜里町観光協会、斜里町、釧路自然環境事務所